

# 新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶん ざっし み げん だい に ほん

## ◆ 第11回 ◆

だい かい

# 大人の仲間入りできたかな？

おとな なか ま い

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情を紹介するとともに、日本語を教える先生方が、新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業にどう活用できるかを提案していきます。今回は「成人式」に関する記事を取り上げますが、実際の教室活動の流れに沿って質問と記事を提示しました。

「読む前に」と<キーワード>の部分は、いきなり記事を読むのではなく、記事に関する背景知識を整理して、読む準備をすることを目的にしています。「読む前に」の質問は、学習者が話題に関してどんな情報やイメージを持っているかを引き出したり、記事の内容を予測したりすることで、記事を読む意欲を高めることを狙っています。「読んだ後で」の質問は、学習者が記事を読んで自分の頭の中に作り上げたイメージを表現させたり、記事への反応を他の学習者と交換させることを目的にしています。

## 読む前に

よ まえ

日本では、満20歳になると、法律上でも責任ある一人前の成人として扱われます。選挙権が与えられる他、飲酒や喫煙も法律上正式に認められるようになります。この成人に達した人を祝う儀式が成人式です。日本には、古い時代（7世紀頃）から、子供が大人の社会の仲間入りをするという現在の成人式に該当する儀式がありました。12歳～16歳の間に、貴族や武家社会などで、男子の場合は、成人の装束を着て髪を結び、冠をかぶる「元服」という儀式、女子の場合は、「成女式」として垂らしていた髪を結び上げる「髪上げ」の儀式などが行われていました。それぞれ服装や習慣などの変化に伴い、時代とともに儀式も様変わりしていったようです。

現在では、1月の第2週の月曜日が「成人の日」で、法律で定められた国民の祝日になっています。1950年代半ば頃からは、全国的に各地で成人式が行われるようになりました。市町村などの役所が主催者となって、地区の住民の中で満20歳になった人を式典に招待します。この日初めて振袖を着るといった女性も多く、今では、限ら

れた場面（卒業式や、友人の結婚式、茶道や日本舞踊のお稽古事など）でしか和服を着る機会の少なくなった日本において、成人の日は、街の中で晴れ着の女性を一番多く見かける日となっています。式典では、市長の祝辞、著名人の講演などが多く行われていたのですが、昨年（2001年）の成人式が、各地で「荒れた成人式」となり、逮捕者まで出た会場もあったことから、成人式の在り方が議論を呼んでいます。

さて、2002年の成人の日はどうだったのでしょうか。

## <キーワード>

成人の日 儀式 マナー 混乱 晴れ着

せいじん ひ ぎしき こんらん はぎ

質問1：みなさんの国では、「成人」と認められるのは何歳からですか。その時どんなことをしますか。何か儀式を行いますか。

質問2：「荒れた成人式」とはどんな成人式だったと思いますか。



読売新聞（朝刊）2002年1月15日「成人の日 荒れた昨年の教訓 大きな混乱はなく」

『日本語教育通信』2002年5月「新聞・雑誌から見る現代日本」

第11回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。

▲読売新聞 2002年1月15日 朝刊  
よみうりしんぶん ねん がつ にも ちゆうかん

### 読んだ後で

よ あと

質問3：今年の成人式はどんな工夫がされていましたか。文章の中から探して、簡潔にまとめてください。

しつもん ことし せいじんしき くふう ぶんしやう なか さが かんけつ

産経新聞（朝刊）2002年1月14日「主張 成人式 若者に媚びる必要はない」

『日本語教育通信』2002年5月「新聞・雑誌から見る現代日本」

第11回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。

▲産経新聞 2002年1月14日 朝刊  
さんけいしんぶん ねん がつじゅうよっか ちゆうかん

### 自分を大人だと思っているか

じぶん おとな おも

「西暦2001年新成人の恋愛統計意識調査」(株オーエムエムジー)

『日本語教育通信』2002年5月「新聞・雑誌から見る現代日本」

第11回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。

出典：「西暦2001年新成人の恋愛統計意識調査」  
しゅってん せいろく ねんしんせいじん れんあいとうけい いしきちゆうさ  
(株オーエムエムジー)

質問4：筆者は、今年の成人式のやり方をどう評価していますか。評価している部分を3ヶ所探して抜き出してください。

質問5：今回の新聞記事に載っているような今年の日本の成人式のやり方について、皆さんはどう思いますか。

また、もし自分が成人の日を祝ってもらおうとしたら、どのように祝ってほしいですか。

質問6：図表「自分を大人だと思っているか」は、2001年に成人になった人400人（男性200人、女性200人）に質問した

結果です。「自分を大人だと思っていない」理由の上位は「経済的に自立していない」（69.6%）、「精神的に自立していない」（60.9%）でした。みなさんが考える大人の条件はどんな条件ですか。

### <解答例>

質問3： しつもん	高松市 たかまつし	公募した新成人スタッフの企画で、人気の曲をBGMに取り入れたり、決意や夢を語るメッセージビデオを上映したりして雰囲気を一変した。会場整理の警備員らを約2倍に増やした。
	高知市 こうちし	挨拶は市長だけとし、式典を約30分程度に簡素化した。
	浦安市 うらやすし	地元にある東京ディズニーランドで行い、キャラクターと一緒にダンスなども楽しんだ。
	さいたま市 し	新成人1人につき家族1人の出席を認めた。
	志本市 しめし	「1日市長を体験できる権利」がチャリティーオークションにかけられた。

質問4：安易に新成人に迎合したとしか思えない催しが多い。

いずれも、ただ騒ぎをおこさせないためだけの姑息な方法に過ぎない。

新成人に媚びてまで、やり方を変える必要はない。

今回取り上げたテーマや練習案についてのご意見をお待ちしています。また、今回の記事を使って授業をしたときの様子や結果などを編集部までお寄せください。このコーナーの担当=木田真理、三原龍志（日本語国際センター専任講師）